「とびらプロジェクトフォーラム」

このページでは、2024年1月21日（日曜日）開催予定の「とびらプロジェクトフォーラム」に関するご案内をしています。テキストは「音声読み上げ用」に作成しているため、ウェブサイトとは、文章や表現などが異なっている部分があります。

# 「とびらプロジェクトフォーラム」のご案内

# 日程：2024年1月21日(日曜日)

# 

## 第一部

時間：13時～15時30分、受付開始12時30分

会場：東京都美術館 講堂定員：220名定員になり次第締め切ります。情報保障：手話通訳あり、文字通訳あり。

テーマ：ミュージアムと（セレンディピティ） 共創を生み出すまなざし

とびらプロジェクトでは、美術館を拠点に人と作品、人と人、人と場所をつなぐ活動を12年にわたり展開してきました。社会情勢や人々の生活、ミュージアムの状況が大きく変動するなかで、今年度も多様なアート・コミュニケータたちと新たな対話の場づくりに取り組んでいます。

今年度の取り組みの中から、東京藝術大学大学美術館や地域の認知症カフェを開催する医療・福祉団体と協働して開催した「ずっとび鑑賞会 ※1」や、聴者・ろう者・難聴者が一緒に作品について思考したティーンズプログラム「みるラボ：わからないのはじまり ※2」、12年間のアーカイブやとびラーの活動を紹介した展示「アート・コミュニケーション事業を体験する2023」などの事例をふりかえりながら、あらゆる人々との共創を可能にするコミュニティがどのように生まれてくるのかについて考えていきます。

ミュージアムでは、文化財との出会いや鑑賞、他者との対話を通して、人々の創造性が発揮されます。13回目となるとびらプロジェクトフォーラムでは「（セレンディピティ）※3」をキーワードに、作品を介して来館者と共につくる場でのアート・コミュニケータのかかわり方をみることで、偶然の出会いからかけがえのない価値が生まれていくプロセスを紐解いていきます。みなさんのご参加をお待ちしています。

※1 [Creative Ageing ずっとび](https://www.zuttobi.com/) との連動

※2 [Museum Start あいうえの](https://museum-start.jp/) との連動

※3セレンディピティ（serendipity）

1. とびらプロジェクトの紹介

2 トークセッション 共創を生み出す「アート・コミュニケータ」のかかわり方

登壇者：アート・コミュニケータ、、

3 ディスカッション　ミュージアムと（セレンディピティ）

登壇者：

　アーティスト、 東京藝術大学学長

　 東京藝術大学大学美術館長・教授

　プランニング・ディレクター/リビングワールド代表

　東京都美術館　学芸員　アート・コミュニケーション係長、とびらプロジェクトマネジャー

　東京藝術大学芸術未来研究場 ケア＆コミュニケーション領域 特任助教、とびらプロジェクトマネジャー

## 第二部　とびラー　オープンセッション

時間：15時45分～17時

会場：東京都美術館 講堂、アートスタディルーム、スタジオとびらプロジェクトの活動拠点を公開し、とびラボなどのとびラーの普段の活動についてご紹介します。とびラーがみなさまからのご質問にもお答えします。時間内はご自由に出入りできます。

## 参加申込方法

参加費無料、事前申込制、先着順

とびらプロジェクトフォーラムに参加する場合は、申込フォームからお申し込みください。

申し込みフォーム→　リンク<https://tobikan.jp/form/392>

\*プログラムの様子は、広報・記録用に撮影させていただきます。ウェブサイト等の広報媒体に使用することがありますので、ご了承ください。

お問い合わせ

東京都美術館 アート・コミュニケーション係

〒110-0007　東京都台東区上野公園8-36

メール：q-tobira@tobira-project.info

TEL：03-3823-6921（東京都美術館代表）

主催：東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学

企画・運営：東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」

2023©︎Tokyo Metropolitan Art Museum